



2012年 4月 27日
独立行政法人海洋研究開発機構

統合国際深海掘削計画Expedition343 「東北地方太平洋沖地震調査掘削」の進捗状況について（お知らせ）

地球深部探査船「ちきゅう」は、本年4月1日より「東北地方太平洋沖地震調査掘削」を実施しておりますが、本日、1孔目の第A孔における掘削同時検層（※1）を完了し、当該掘削孔での掘削作業を終えました。

「ちきゅう」は、現在、残りの第B孔での掘削に向け準備をしております。

【第A孔での掘削深度】

水深 6883.5m

掘削深度 856.5m（海底下）

海面から孔底までの総ドリルパイプ長 7740m（※2）

※1 LWD：ドリルパイプの先端近くに各種の物理計測センサーを搭載し、掘削作業と同時に現場での地層物性の計測を行う掘削作業

※2 このパイプ長は科学掘削としては、1978年にアメリカのグローマーチャレンジャー号がマリアナ海溝チャレンジャー海淵で達成した7049.5m（水深7034m、掘削深度15.5m）を超え、世界最長記録となります。

以上

お問い合わせ先：

独立行政法人海洋研究開発機構

（本内容について）

地球深部探査センター 企画調整室長 山田 康夫

（報道担当）

経営企画室 報道室 菊地 一成